

2024年10月22日
南海電気鉄道株式会社

南海電鉄では「駅係員終日不在駅の賑わい創出」に取り組んでいます

- ① 就労支援事業者による、駅係員終日不在駅での出店・駅支援業務の実施回数が204回になりました。（2023年度）
- ② 今年10月からは通勤・通学時間帯において、地元自治会によるサポーターに駅係員終日不在駅で駅支援業務を実施していただいています。



我孫子前駅前の授産品販売



千代田駅での授産品販売

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行、以下「南海電鉄」）では、2023年4月13日から就労支援施設利用者に、駅を利用するお客さまへの挨拶やお声掛け、駅付近の案内、簡易清掃等の駅支援業務を行っていただくとともに、就労支援事業所に無償で駅のスペースを貸し出し、授産品を販売しています。

協働パートナー5者、2駅での出店から始まった本取組みは、現在、沿線の26の就労支援事業者、社会福祉法人に協働パートナーになっていただいています。2023年度は、14駅で計204回（うち清掃業務のみ12回）、2024年度上期（4月～9月）は、12駅で計130回（うち清掃業務のみ6回）、出店・駅支援業務を実施していただきました。

その他、賑わい創出のための取組み（実証実験）として、2024年1月から3月には、当社OBによるサポーターを通勤・通学時間帯に駅係員終日不在駅に配置し、駅支援業務を実施しました。アンケートを実施したところ、駅利用者からは「サポーターからの挨拶で明るい気分になる」「安心感がある」という意見をいただいています。

なお、2024年10月から12月までは、地元自治会によるサポーターに駅支援業務を実施していただきます。

南海電鉄では、引き続き上記の取り組みを推進し、「駅係員終日不在駅の賑わい創出」を目指していきます。

出店事業者「サニー・サイト(就労継続支援B型・生活介護)」によるコメント

駅という人通りがある場所で販売活動を行えることにより、目的意識を持つことができ、定期的に購入して下さるお客さまがいることで、そこから売り上げにつながる事にやりがいがありました。また、駅支援業務も、電車が好きな当施設利用者は、関われること自体に喜びを持っていました。



七道駅で販売活動を行う様子

1. 取り組みの背景

南海電鉄では、中期経営計画「共創140計画」の主な事業戦略の一つに「選ばれる沿線づくり」を掲げ、地域の社会課題解決を通して地域活性化を図る「地域共創型まちづくり」を進めています。その取り組みの一つとして、駅係員終日不在駅の賑わい創出を通じて「沿線エリアの活性化」を目指し、駅係員終日不在駅と駅係員時間帯不在駅を、「駅周辺の施設機能」「交通結節性」「地域交流性」「歴史文化性」「まちの活性化」の5つの視点で調査し、自治体や沿線事業者等の様々なステークホルダーと共創した施策を模索してまいりました。

施策の一つとして、南海電鉄が目指す「駅係員終日不在駅の賑わい創出」と就労支援施設が目指す「地域住民と触れ合う機会を増やし利用者の就労能力を向上させる」という理念が合致し、就労支援施設利用者に、駅支援業務を行っていただくとともに、就労支援事業所に無償で駅のスペースを貸し出し、授産品を販売しています。

授産品販売を行う予定がない駅係員終日不在駅では、2024年1月から当社OBや地元自治会によるサポーターを通勤・通学時間帯に配置する実証実験を実施しています。

2. 今後

引き続き沿線エリアの就労支援事業所を含む社会福祉法人や企業、地元自治会等の様々なステークホルダーのみなさまとの協働により、駅係員終日不在駅の更なる「賑わいの創出」に取り組んでまいります。

なお、本取り組みへの参画に関するお問い合わせは以下にご連絡ください。

○参画に関するお問い合わせ先

南海電鉄 総務人事グループ HR本部 人財戦略部 沿線サービスセンター

TEL: 06-6644-7228 (受付時間: 平日9:00~17:00)

【参考】ニュースリリース(2023年4月5日)

「地域活性化を目指し、就労支援施設利用者による駅係員終日不在駅等での授産品販売と駅支援業務を開始します」

<https://www.nankai.co.jp/lib/company/news/pdf/230405.pdf>

以上